



コロナ不況 世界を襲う

コロナ不況 世界覆う

IMFの世界経済見通し

	2019年	20年	21年
世界全体	2.9%	▲3.0% [▲63]	5.8% [▲24]
米国	2.3	▲5.9 [▲7.9]	4.7 [▲3.0]
ユーロ圏	1.2	▲7.5 [▲8.8]	4.7 [▲3.3]
日本	0.7	▲5.2 [▲5.9]	3.0 [▲2.5]
中国	6.1	1.2 [▲4.8]	9.2 [▲3.4]



IMF「成長率マイナス3%」

米国好況一変「大恐慌以来の苦難」

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に重くのしかかっている。厳しい外出制限を続ける米国は、経済活動停止で雇用環境が急激に悪化。米メディアでは、5人に1人が失業した約90年前の世界大恐慌と比較する論調が目立つ。欧州や中国は、インターネット通販などの競争や米中貿易摩擦で既に疲弊した企業も多く、復活の動きが加速する可能性がある。(1面参照)

日本も底割れの懸念

新型コロナウイルスが感染拡大を続ける2020年は、日本経済も歴史的な苦難に直面する見通しだ。国際通貨基金(IMF)は、20年の成長率をマイナス4.0%と予想し、21年は2.4%と回復を予測している。IMFは、20年の成長率をマイナス4.0%と予想し、21年は2.4%と回復を予測している。

欧州や中国 企業淘汰加速か

ニューヨーク中心部「ハッタン」の食料配給用「1人1袋」の配布。マスクと手袋の女性がテールを指さした。この日の昼食はピーナツバターとブルーベリージャムを挟んだサンドイッチにニンニクのサラダ、牛乳。行列が絶えない。

都道府県の人口と増減率

都道府県	人口(万人)	増減率(前年比%)
北海道	525.0	▲0.68
青森県	124.6	▲1.31
岩手県	122.7	▲1.12
宮城県	230.6	▲0.40
秋田県	96.6	▲1.48
山形県	107.8	▲1.15
福島県	184.6	▲0.98
茨城県	286.0	▲0.59
栃木県	193.4	▲0.61
群馬県	194.2	▲0.50
埼玉県	735.0	0.27
千葉県	625.9	0.08
東京都	1392.1	0.71
神奈川県	919.8	0.24
新潟県	222.3	▲1.00
富山県	104.4	▲0.66
石川県	113.8	▲0.50
福井県	76.8	▲0.78
山梨県	81.1	▲0.80
長野県	204.9	▲0.70
岐阜県	198.7	▲0.51
静岡県	364.4	▲0.43
愛知県	755.2	0.21
三重県	141.4	0.11
滋賀県	258.3	▲0.31
京都府	880.9	▲0.04
大阪府	546.6	▲0.33
兵庫県	133.0	▲0.66
奈良県	92.5	▲1.05
和歌山県	55.6	▲0.86
鳥取県	67.4	▲0.84
徳島県	189.0	▲0.46
香川県	280.4	▲0.46
愛媛県	135.8	▲0.88
高知県	72.8	▲1.09
福岡県	95.6	▲0.59
佐賀県	69.8	▲1.15
長門県	510.4	▲0.07
熊本県	81.5	▲0.55
大分県	132.7	▲1.05
宮崎県	174.8	▲0.53
鹿児島県	113.5	▲0.71
沖縄県	107.3	▲0.69
全国平均	160.2	▲0.74
全国合計	145.3	0.39
全国合計	12616.7	▲0.22

ニセコ キセキ

販売、管理も「豪州流」に

海外でニセコを販売する「ニセコキセキ」が、豪州の「セブ」から販売管理のノウハウを学んでいる。セブは、豪州の「セブ」から販売管理のノウハウを学んでいる。

独自宣言 広がる列島

医療崩壊に危機感/道を参考

政府緊急事態 1週間

医療崩壊に危機感を感じ、独自の宣言を掲げる自治体が増えている。政府は緊急事態宣言を1週間延長した。

七光星に輝き

七光星に輝き、未来を照らす。七光星に輝き、未来を照らす。

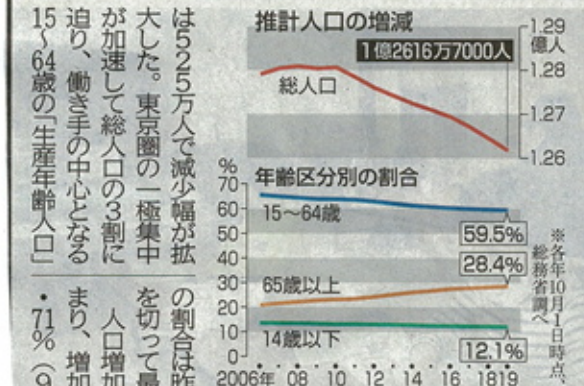
入園、開園笑顔で祝う

三笠に幼保連携型認定こども園

三笠市に幼保連携型認定こども園が開園し、笑顔で祝った。三笠市に幼保連携型認定こども園が開園し、笑顔で祝った。

道人口525万人 減少幅が拡大

19年推計 全国9年連続減



総務省は14日、2019年10月1日時点の人口推計を発表した。外国人を含む全国の総人口は、前年同期より27万6千人少ない1億2616万7000人となった。減少率は0.22%で、減少数とともに比較可能な1950年以降で最大。前年と同じく全国8位の道内は525万人で9年連続の減。減少率は0.68%で、大した。東京圏の一極集中が加速して総人口の3割に迫り、働き手の中心となる15〜64歳の「生産年齢人口」の割合は昨年が続いて6割を切った。最低を更新した。人口増加は7都県にとどまり、増加率は東京都の0.71%（9万9千人増）が最高。沖縄、埼玉、神奈川、東京、神奈川、埼玉、千葉は計367万2千人で、過去7年で約100万人増加。総人口の29.1%に達し、右肩上がりが続く。減少率は26道県で拡大した。

過去最低だった。生産年齢人口は750万2千人（同59.5%）。道内は65歳以上が31.9%と全国より高齢者の割合が高い。

総人口のうち、日本人は1億2373万人で、48万7千人減。留学生や技能実習生など3カ月を超えて滞在する外国人は、243万6千人で21万人増えた。昨年4月の改正入籍法施行に伴う受け入れ拡大により、外国人労働者で人手不足を補う傾向が強まったことが影響したとみられる。(古田夏也)